

# 平成27年3月期 決算説明資料

平成27年5月13日

# 平成27年3月期 決算概要

# 平成27年3月期決算の総括

---

消費税増税以降落ち込んだ個人消費回復に時間を要したものの、雇用環境・所得環境・企業収益の改善など、総じて緩やかな回復基調にありました。当社の事業環境も、設備投資意欲の一時的な停滞があるものの、吸収冷温水機・ボイラの需要とも、総じて安定的に推移しています。

受注高は、前期比 5 億41百万円増加の169億66百万円、売上高は、前期比 1 億29百万円減少の166億44百万円となりました。

利益面では、ボイラ事業の売上増加と経費の削減努力により、営業利益は、4 億60百万円と前期比51百万円増加しましたが、経常利益は、為替差益の減少などにより、前期比19百万円減少の4 億52百万円となりました。当期純利益は、前期に貸倒引当金の戻入による特別利益 1 億66百万円があったこと、および平成27年度税制改正により繰延税金資産の取崩しを行い法人税等調整額に 1 億 6 百万円計上する影響などにより前期比 2 億42百万円減少の 1 億61百万円となりました。

# 平成27年3月期損益計算書

単位:百万円

|            | 前期     | 当期     | 前年比  | 備考                            |
|------------|--------|--------|------|-------------------------------|
| 売上高        | 16,773 | 16,644 | 99%  |                               |
| 売上総利益      | 4,260  | 4,257  | 100% |                               |
| 販売費及び一般管理費 | 3,851  | 3,796  | 99%  |                               |
| 営業利益       | 408    | 460    | 113% |                               |
| 営業外収益      | 73     | 17     | 23%  |                               |
| 営業外費用      | 10     | 26     | 260% |                               |
| 経常利益       | 471    | 452    | 96%  |                               |
| 税引前当期純利益   | 637    | 452    | 71%  | 前期は、貸倒引当金の戻入による特別利益1億66百万円あり。 |
| 法人税等       | 233    | 290    | 124% |                               |
| 当期純利益      | 404    | 161    | 40%  |                               |

# 平成27年3月期貸借対照表（資産の部）

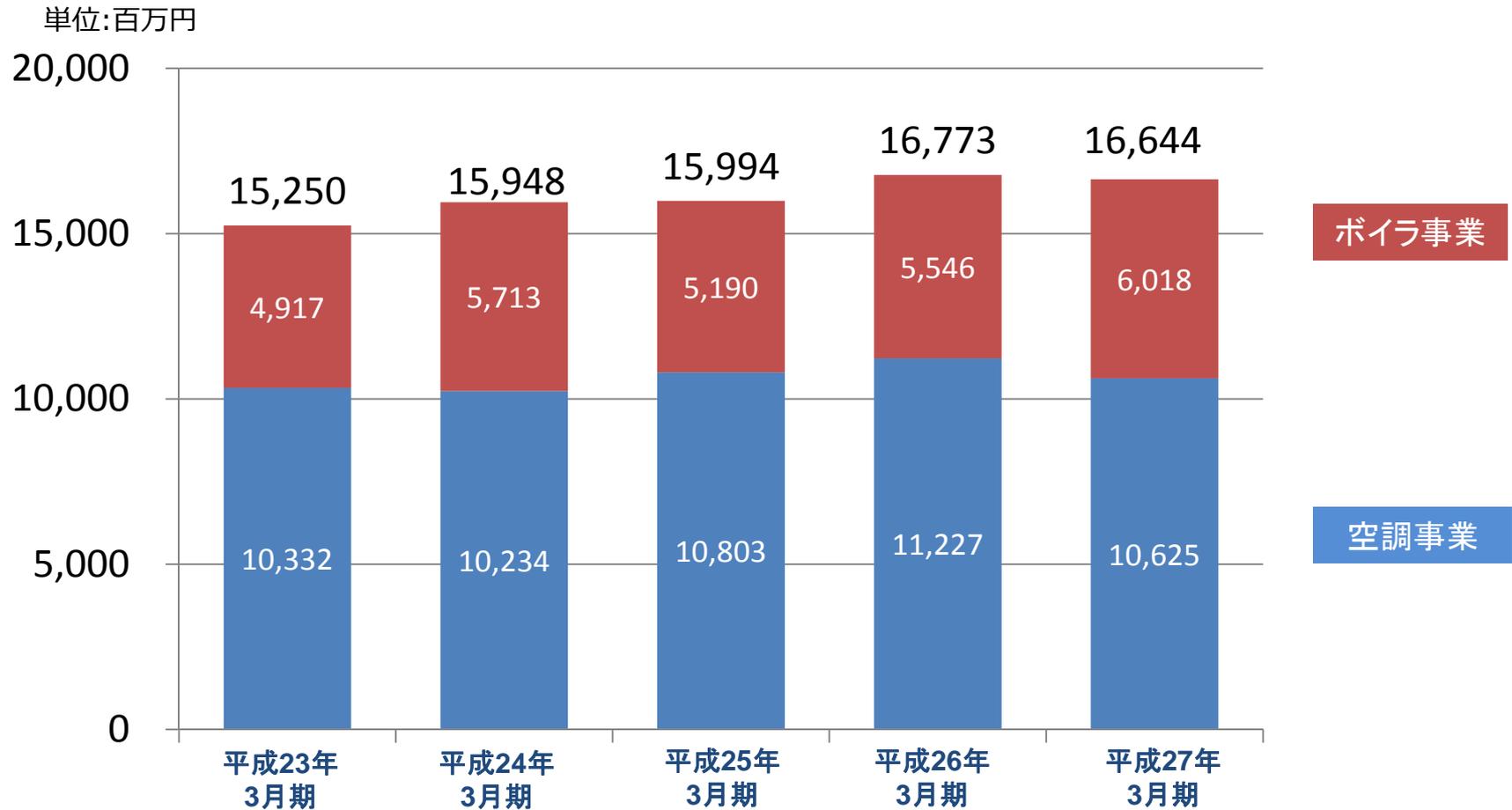
単位:百万円

|                 | 前期     | 当期     | 備考 |
|-----------------|--------|--------|----|
| <b>流動資産</b>     | 8,214  | 8,397  |    |
| 現金及び預金          | 5      | 5      |    |
| 受取手形・売掛金・電子記録債権 | 6,640  | 6,527  |    |
| 棚卸資産            | 1,311  | 1,631  |    |
| 繰延税金資産          | 307    | 306    |    |
| その他流動資産         | △50    | △73    |    |
| <b>固定資産</b>     | 4,474  | 4,228  |    |
| 有形固定資産          | 2,090  | 2,022  |    |
| 無形固定資産          | 345    | 301    |    |
| 繰延税金資産          | 935    | 803    |    |
| 投資その他の資産        | 1,103  | 1,101  |    |
| <b>資産合計</b>     | 12,688 | 12,626 |    |

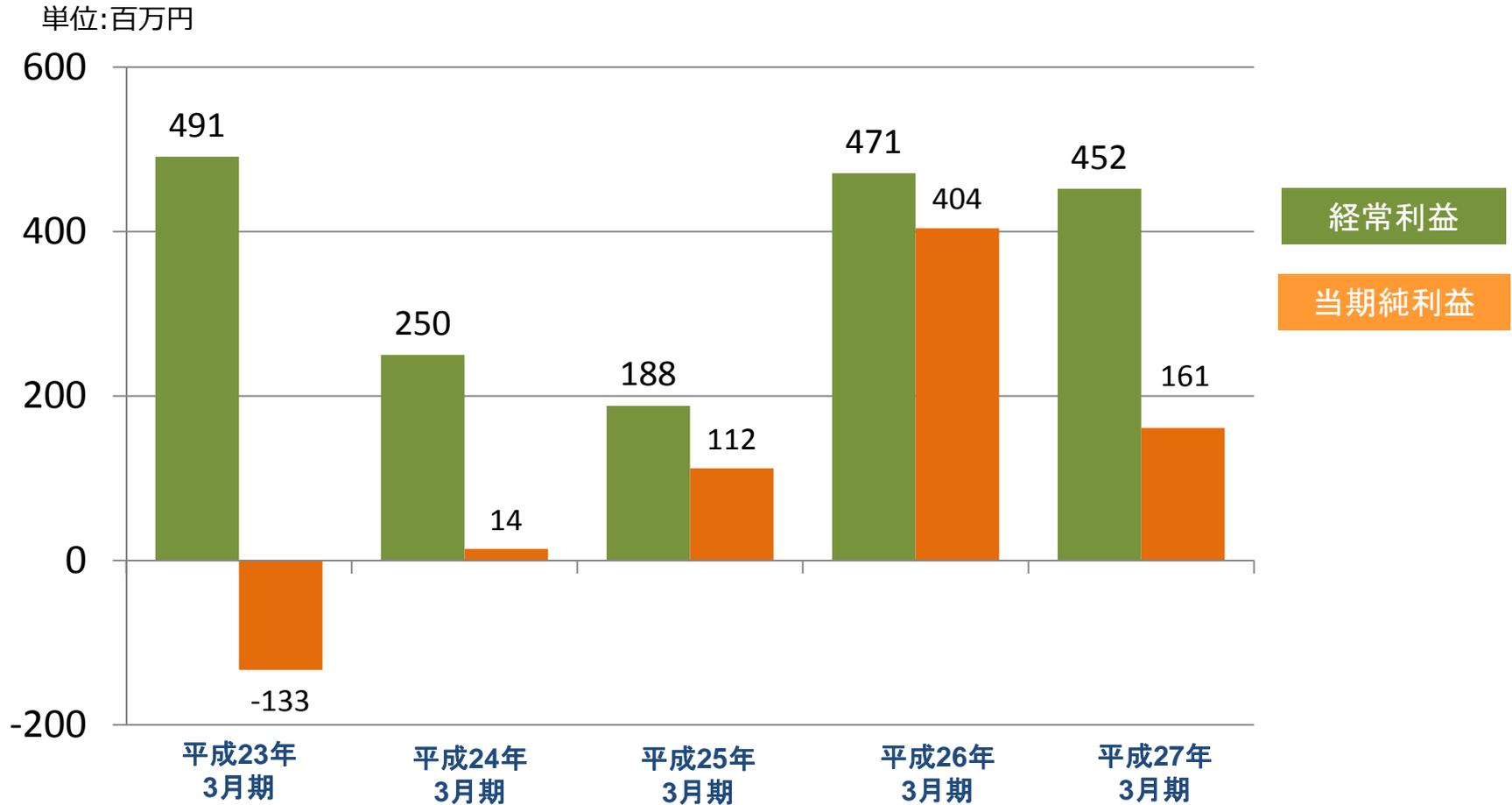
## 平成27年3月期貸借対照表（負債・純資産の部）

|                 | 前期     | 当期     | 備考     |
|-----------------|--------|--------|--------|
|                 |        |        | 単位:百万円 |
| <b>流動負債</b>     | 5,918  | 5,894  |        |
| 支払手形・買掛金・電子記録債務 | 3,778  | 4,001  |        |
| 未払法人税等          | 218    | 161    |        |
| その他流動負債         | 1,921  | 1,731  |        |
| <b>固定負債</b>     | 2,545  | 2,448  |        |
| 退職給付引当金         | 2,426  | 2,337  |        |
| その他固定負債         | 118    | 110    |        |
| <b>負債合計</b>     | 8,463  | 8,342  |        |
| 資本金             | 1,460  | 1,460  |        |
| 資本剰余金           | 1,228  | 1,228  |        |
| 利益剰余金           | 1,536  | 1,597  |        |
| 自己株式            | △19    | △21    |        |
| 株式等評価差額         | 19     | 18     |        |
| <b>純資産合計</b>    | 4,225  | 4,283  |        |
| <b>負債・純資産合計</b> | 12,688 | 12,626 |        |

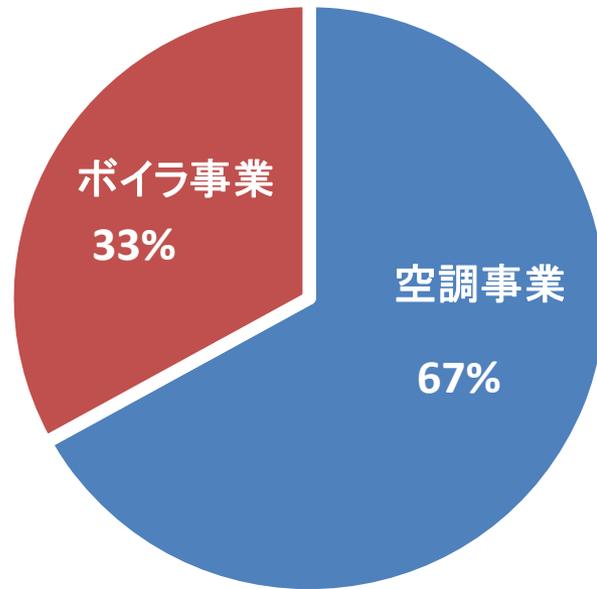
# 売上高の推移



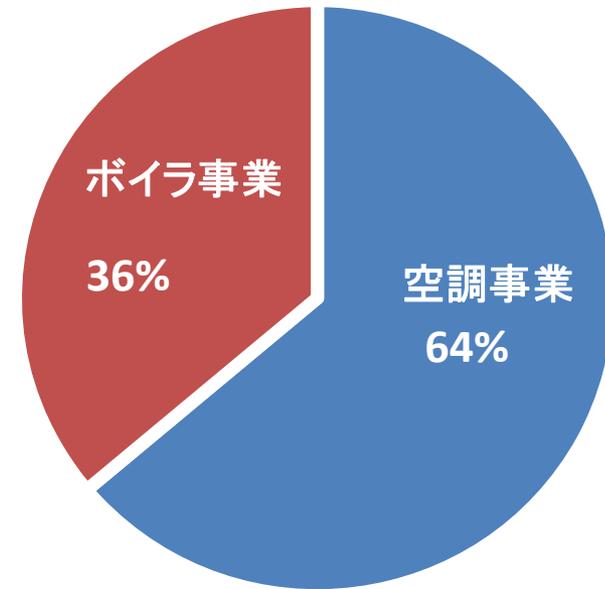
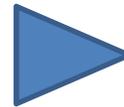
# 利益の推移



## 売上高構成比の比較



平成26年3月期



平成27年3月期

# 事業区分別分析

---

## 空調事業

- ① 機器本体の売上高は、消費増税に伴う前倒し需要の影響により前期を大幅に下回りました。
- ② 改修改造工事・メンテナンスの売上高は、ほぼ前年度並みとなりました。

## ボイラ事業

- ① 機器本体の売上高は、前期受注の大型ボイラ大口案件が当期売上となり、前期を上回りました。
- ② 改修改造工事・メンテナンスの売上高は、大口の改修・改造工事の受注が好調に推移したため、前期を上回りました。

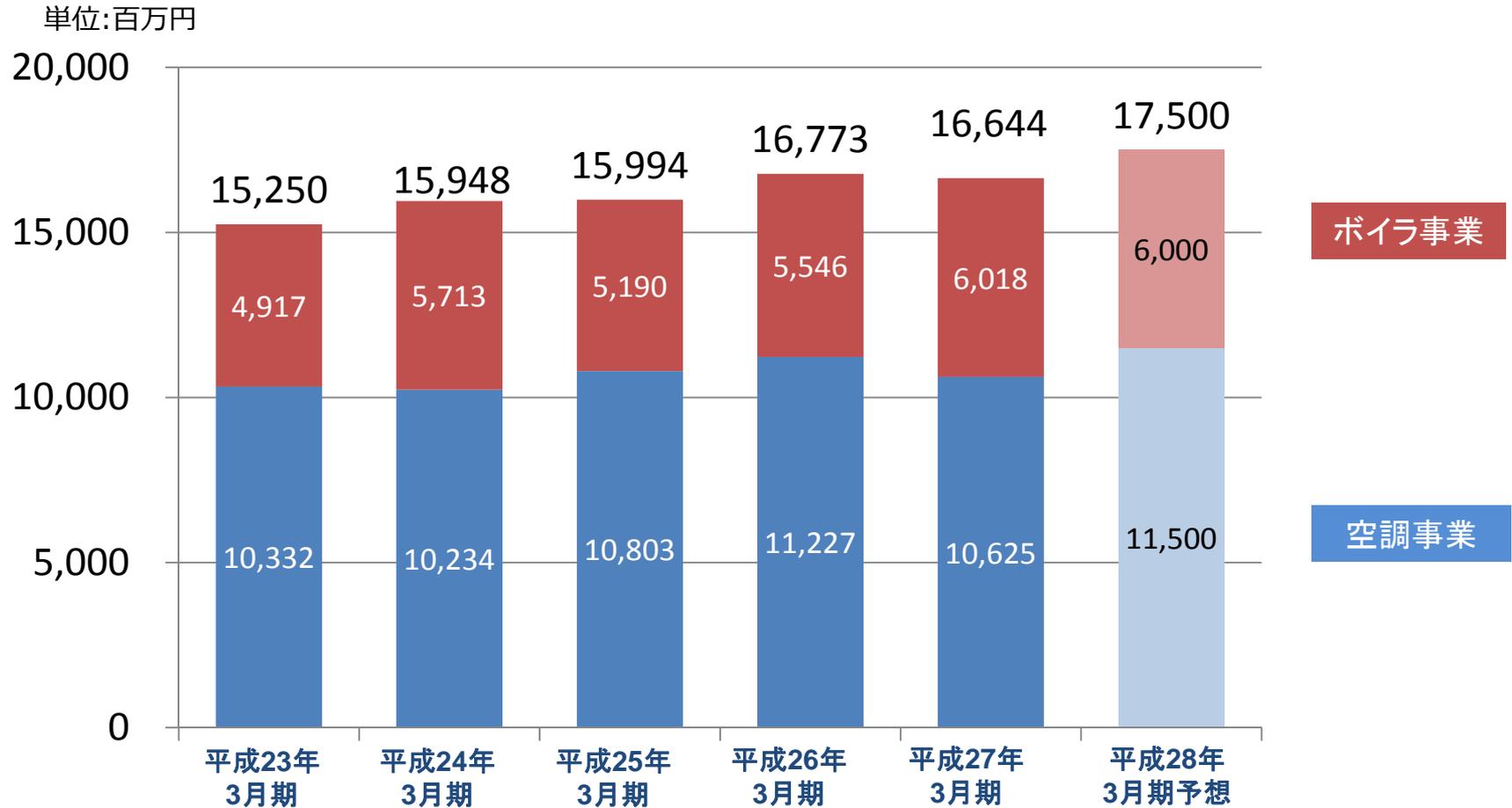
# 平成28年3月期 業績予想

# 平成28年3月期の業績予想

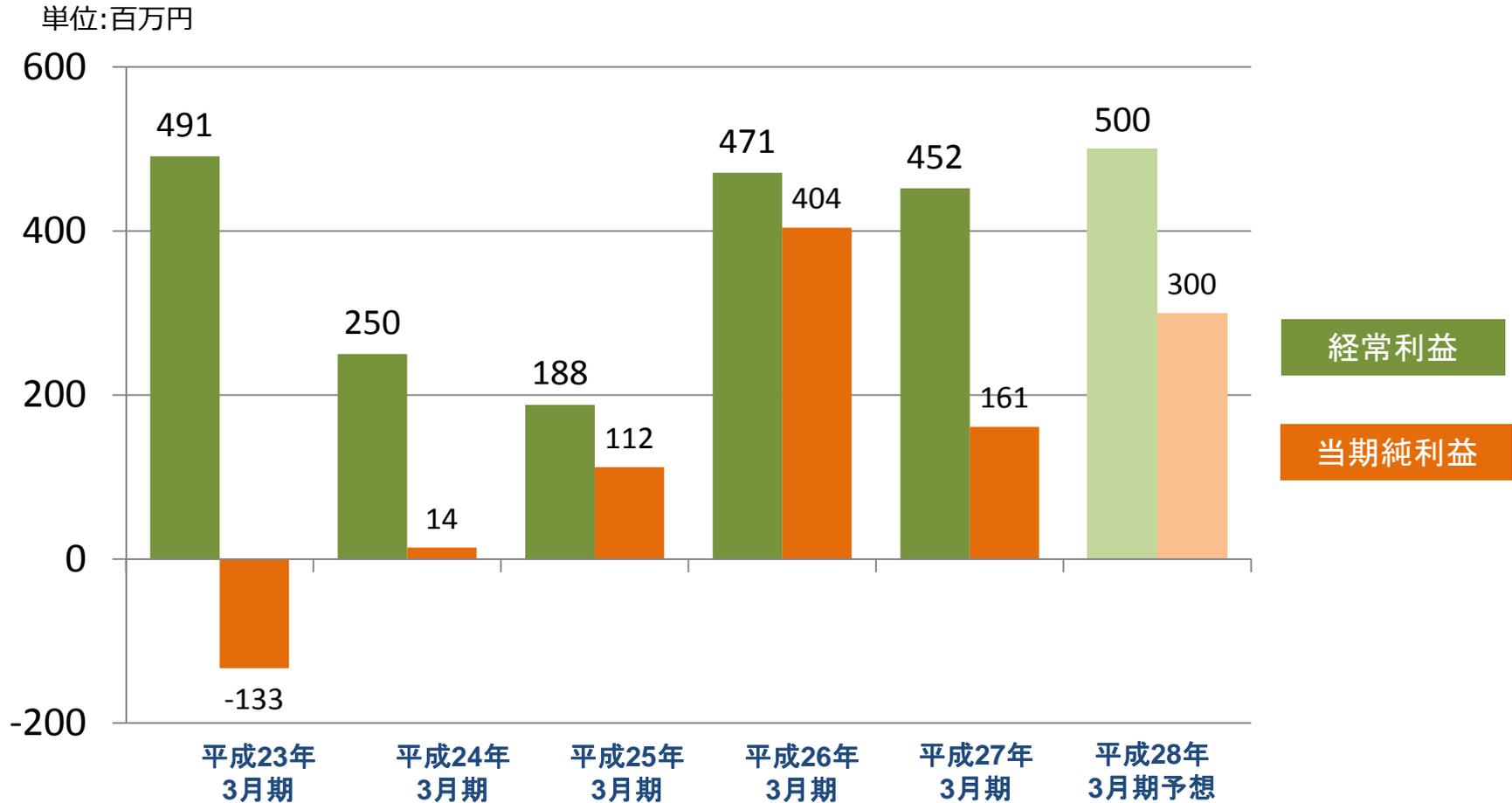
単位:百万円

|       | 平成27年3月期 | 今期予想   | 前期比  |
|-------|----------|--------|------|
| 売上高   | 16,644   | 17,500 | 105% |
| 空調事業  | 10,625   | 11,500 | 108% |
| ボイラ事業 | 6,018    | 6,000  | 100% |
| 営業利益  | 460      | 510    | 111% |
| 経常利益  | 452      | 500    | 111% |
| 当期純利益 | 161      | 300    | 186% |

# 売上の推移（予想）



# 利益の推移（予想）



# 事業区分別計画

## 空調事業

- ① 「省電力」「高効率」「排熱の高度利用」をキーワードに、機器単体のみでなく空調設備全体の省エネルギーを提案するソリューション営業活動の更なる強化に取り組んでまいります。
- ② 主力機種である「エフィシオ」についてジェネリンク型吸収冷温水機「NHJ」型蒸気式吸収冷凍機「NES」型を平成27年4月からシリーズに加え、販売開始いたしました。「エフィシオ」シリーズの主要ラインナップが完成することとなり、「エフィシオ」の高性能をアピールすることにより、さらなる拡販に努めてまいります。

## ボイラ事業

- ① 15年の製品保証付き\*1の大型貫流ボイラ「イフリート フェルサ」を平成27年3月から販売開始いたしました。製品の「高効率」を提供するのみではなく、製品保証と組み合わせたボイラ薬品・メンテナンス契約の提案により、お客様に「安心」と「低ライフサイクルコスト」も提供し、機器販売の増加及びストックビジネスでの収益の増加を目指してまいります。  
\*1 ボイラ薬品及びメンテナンス契約が必要です。
- ② 「排熱の高度利用」を目指し、川崎重工業グループのガスタービン・ガスエンジンを中心に、排熱ボイラを採用いただけるよう積極的に取り組んでまいります。

## 本資料に関する問い合わせ

「快適」をあなたの<sup>いま</sup>現在と未来へ



# 川重冷熱工業株式会社

企画室 経営管理部

TEL 077-563-1111

### ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願いいたします。